

生成 AI 利活用における業務効率化に向けた情報提供依頼（RFI）

令和 8 年 8 月 7 日

矢巾町企画財政課

1 目的

矢巾町（以下「本町」という。）では、限られた職員数の中で、事務作業の効率化および住民サービスのさらなる向上を図るため、生成 AI（大規模言語モデル（LLM）等）の導入を検討しています。

本町のネットワーク環境は、強固なセキュリティを前提とした LGWAN（総合行政ネットワーク）接続を基本としています。そのため、安全に利用可能な ASP サービスの市場動向、技術的実現性、および概算費用を把握し、次期調達に向けた仕様書作成の参考情報として活用させていただくため、有益な情報および関連する情報の提供を依頼するものです。

2 概要

（１） 名称

生成 AI 活用による業務効率化に向けた情報提供依頼

（２） 対象範囲

LGWAN 環境から利用可能な生成 AI サービス（ASP 形式）

（３） 提出期限

令和 8 年 9 月 30 日（水） 午後 5 時必着

3 本町における導入の課題と前提条件

（１） データ保護

入力データが AI モデルの学習に再利用されないこと（オプトアウト設定等）を必須条件とする。

（２） データ保存場所

入力データおよびログデータ等が保存・処理されるサーバーの物理的所在地は日本国内に限定すること。

（３） 運用支援

限られた人員で多岐にわたる業務を兼務する本町の体制を想定し、導入時だけでなく利用定着に向けた継続的な支援（操作説明、活用助言、他団体事例の共有等）を有していること。

（４） 接続環境

原則として LGWAN-ASP 登録済み事業者、または LGWAN 環境からの接続実績があること。新たに個別専用線の敷設は想定していない。ブラウザは Microsoft Edge 最新版で全機能が動作すること。

（５） データ保管環境

本町の主要なデータ保管環境は、LGWAN 環境内のオンプレミス・ファイルサーバであり、現時点で外部クラウドストレージとの（自動）連携は想定していません。

(6) セキュリティ

ISMAP 登録済みサービスであることが推奨される。未登録の場合は、同等のセキュリティ措置等を証明する資料を（ISMS 等）を添付してください。

(7) 法的要件

日本の法律に準拠し、合意管轄裁判所は東京地方裁判所または本町を管轄する裁判所とすること。

4 情報提供依頼事項

(1) 生成 AI の基本性能および将来性に関する事項

- 提供可能な最新の LLM（GPT-5.4、Claude 4.7、Gemini 3.1、国産モデル等）の多様性、技術革新に伴う新モデルリリース時の提供開始までの期間、ならびにバージョンアップに伴う追加費用の有無
- マルチモーダル機能（手書き公文書の OCR 読み取り、音声解析、長文 PDF 解析等）の対応状況
- 音声データのテキスト化および要約機能（録音データのアップロードによる音声文字起こし機能、およびそのテキストに基づいた議事録要約機能等の有無。長時間の音声ファイルへの対応可否。）の対応状況

(2) 検索拡張生成（RAG）に関する事項

- 本町の例規集、事務マニュアル、議事録等の参照用ドキュメントの登録・更新プロセス、システム全体で登録可能なドキュメントの総容量（上限値）の目安、およびアクセス権限制御の仕組み
- 回答根拠（出典等）の明示方法、およびハルシネーション（AI の不正確な回答）抑制のための技術的な措置

(3) 職員の利活用および習熟支援に関する機能

- 自治体業務に特化した定型プロンプトの提供
文案の作成、広報記事の起稿、議事録の要約、施策立案の支援等、自治体実務に即した定型プロンプトの種類、および編集・追加の可否
- 知見の共有および管理
組織内で有効性が確認されたプロンプトを全体で共有・蓄積するためのライブラリ機能の有無
- 支援体制
職員向け初期研修（プロンプト作成研修など）や、活用事例の共有などの支援サポートの内容と有無

(4) セキュリティの確保およびガバナンス統制に関する機能

- 情報漏洩防止対策（データマスキング）
個人情報および機密情報を AI 送信前に自動検知し、匿名化（マスキング）を行うフィルタリング機能
- 利用状況の可視化と監査体制
管理者による対話ログの閲覧、検索、および不適切な利用を抑制するための監視・監査機能
- 導入効果の測定
部署別・個人別の利用統計出力等、業務効率化の成果を可視化するダッシュボード機能

(5) 費用関係および予算執行管理における対応方針

- 経費算定の詳細
月額固定料金、従量課金、またはハイブリッド形式などの料金体系（RAG のデータ登録容量等が上限を超過した場合の追加費用の有無や単価を含む）
- 利用上限到達時におけるシステム挙動
月間利用上限（トークン数等）到達時における、サービス停止、あるいは品質制限（速度低下等）を伴う継続利用の可否等、具体的な挙動の詳細
- 導入・初期支援および経費算定に関する事項
初期導入支援、職員向け研修、継続的なナレッジ提供等に係る経費項目および概算額

5 本情報提供依頼書に係る手続き（提出書類および方法）

(1) 提出書類

- 情報提供回答書（任意様式）
- サービス概要資料（特に町村自治体での活用事例等）
- 会社概要資料（任意様式。貴社の基本情報および自治体への導入実績がわかる資料）
- 標準導入スケジュールおよび本町の想定作業量（任意様式。契約締結から利用開始までの工程表案、ならびに構築・導入時に本町側で発生する想定作業の内容）
- 事業実施体制およびセキュリティ管理体制（任意様式。本プロジェクトにおける事業者側の実施体制および再委託（再請負）の有無・範囲）
- 概算見積書（職員数 300 名規模での初期費用、月額費用、年間費用）

(2) 提出方法

- 提出方法：原則として、電子メール

- ファイル形式：PDF、Microsoft PowerPoint、Word、Excel 等
- 参考資料：動画ファイルの添付、または視聴用 URL 等の提出も可能
- 電子メールの件名：「【RFI 回答】生成 AI 導入に関する情報提供（事業者名）」と記載
- 提出期限：令和 8 年 9 月 30 日（水）午後 5 時

【留意事項】

回答時点において、各項目に対し概要や可否が判断できる簡潔な回答で差し支えありません。詳細な技術資料等の提示は不要です。最新の知見に基づいた「本町に推奨されるシステム構成」や「独自の代替案」等の積極的な提示をお願いします。

6 提出先および連絡先

- 担当部署：矢巾町 企画財政課 情報係
- 担当者名：長谷川肇 佐藤武文 森太一
- 所在地：〒028-3692 岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第 13 地割 123 番地
- 電話番号：019-611-2742（直通）
- メールアドレス：yahabadx@town.yahaba.iwate.jp

7 質疑応答

- 本情報提供依頼書に関する質疑応答：原則として電子メールのみ
- 電子メールの件名：「【RFI 質問】生成 AI 導入に関するお問い合わせ（事業者名）」

8 注意事項

- （1）本情報提供依頼（RFI）は、将来の調達に向けた検討資料とするものであり、特定の事業者を選定したり、契約を約束したりするものではありません。
- （2）提出資料にかかる費用は、すべて事業者の負担となります。
- （3）ご提供いただいた資料は、本町における生成 AI 導入検討の目的にのみ利用させていただきます。また、提供者の了承なく組織外への開示はいたしません。
- （4）ご提供いただいた情報および資料につきましては、返却いたしません。
- （5）ご提供いただいた情報に関して、後日問い合わせを行う場合があります。
- （6）ご提供いただいた情報に関して、資料等の内容を仕様書に反映する場合があります。